

北里大学保健衛生専門学院紀要執筆等要領

1 論文の言語

- (1) 論文の原稿は、邦文又は英文で記し、邦文と英文の要旨を付けてください。

2 投稿原稿の原則

- (1) 投稿原稿は、国内外を問わず他紙に未発表のものとしします。
- (2) 論文の内容が倫理的考慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮を記載してください。
- (3) ヒトを対象にした論文は、1964年のヘルシンキ宣言（以降の改変）に沿い、必要な手続きを行ってください。特に臨床試料を扱う場合には、原則として所属機関の倫理委員会などで認められた研究内容で、同意書等を取得した上で得たデータとします。
- (4) 動物による論文は、動物愛護の立場から所属機関の実験動物に関する管理に従って行ったことを明記してください。
- (5) 論文の形式は、執筆要領に従ってください。これに反する場合は原則として受け付けません。
- (6) 修正などのために原稿を返却された場合は、返却日から1か月以内に返送してください。期間内に返送されなかったものは不採用とします。また、修正を求められ再投稿する場合は、指摘された事項に対する回答を付記してください。

3 執筆要領

(1) 論文の書き方等

- ① 表紙には表題、著者名、所属機関名、所属機関連絡先住所、キーワード（5語以内）、要旨（600字以内）を邦文で記載してください。
- ② 英文による表記を併記したい場合は2頁目に表題、著者名、所属機関名、所属機関連絡先住所、キーワード（5語以内、原則として英語の小文字・単数形で記載）、要旨（500語以内・シングルスペース）を記載してください。上項ともにポイント数、配置等についてはひな形を参照のこと。
- ③ 異なる機関に属する者の共著である場合は、所属ごとに番号を付してその番号を著者氏名の右肩に示した上で、氏名欄の下に一括して番号ごとの所属先を記してください。
- ④ 表紙頁を1頁として、通し番号を付してください。
- ⑤ 2頁（英文表記をする場合は3頁）目から、序文、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献、脚注の順に記載し、原稿の構成も同様としてください。なお、それぞれの見出しの言葉は変更しても構いません。
- ⑥ 論文はA4普通用紙を使用し、邦文論文は横書きで、英文論文はシングルスペースで記述してください。また、数字及び英字は原則として半角としてください。

- ⑦ 英文論文は、英語に関して十分な知識を持つ専門家の事前チェックをなるべく受けてください。なお、学術委員会の判断で、受理後の印刷前に英文チェックを行う場合があります。その際の費用は、著者の負担となります。
- ⑧ 原著原稿は、邦文・英文共に刷り上がり A4 普通紙 6～10 頁程度、これ以外の原稿は 6 頁までとします。
- ⑨ 文字使い等は、次のとおりとしてください。
- ・学名はイタリック体を用いるかアンダーラインで明示してください。
 - ・化学物質名・菌名・病名等は省略せずに記述し、略号を用いる場合には文中にその旨を記してください。
 - ・外来語は、片仮名で書いてください。
 - ・外国人名や適当な日本語訳のない術語などは、原綴を用いてください。
 - ・単位は、特別の理由がない限り SI 単位を用いてください。
 - ・数字は、アラビア数字を用いてください。
 - ・表題には商品名を用いないでください。文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、登録商標名のあとに社名を括弧書きして表記してください。
 - ・図・表及び写真は本文に挿入してください。図表は可能な限り白黒とし、組織標本などカラーが必要な場合のみカラーとしてください。カラーの図や写真を使用する場合は、その製版と印刷の費用を著者の負担とする場合があります。
- ⑩ 引用文献の記載様式は、次のとおりとしてください。
- ・引用文献は、本文中の引用箇所右肩に、⁽¹⁾、^(1~3)、^(1,3~5) などの上付き両括弧数字で示し、本文の最後に一括して引用番号順に記載してください。
 - ・引用できる文献は、既に発行された書籍、論文とします。
 - ・引用文献の記載は、以下の形式としてください。雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及び「Index Medicus」に従ってください。
 - i 学術雑誌の例
 - 〔著者名、表題、雑誌名、発行年(西暦)；巻：頁一頁.〕
 - (1) 北里柴三郎、志賀潔、細菌の遺伝子調節予防法、北里研究所雑誌、1868；58：267-274.
 - (2) Kitasato S, Shiga K, Hata S, Effect of the Toxin on stress and temperature. Arch Kitasato Inst, 1887；55：121-125.
 - ii 単行本の例
 - 〔著者名・表題・編者名・書名. 発行所所在地：発行所、発行年(西暦)；頁一頁.〕
 - (1) 志賀潔・赤痢菌・北里柴三郎編・細菌検出方法. 東京：北里研究所出版、1830；246-258.

(2) Hata S, Kitasato S・Antibiotic and resistant bacteria・Kitasato S ed.・
In Method for extracted antibiotic. Tokyo : Kitasato Inst press、1839 ;
101-128.

iii 特殊な報告書、投稿中原稿、私信などのほか、インターネットのホームページは、原則として引用文献としては認められません。

⑪ 研究実施や原稿作成などの過程で、研究助成、特定の企業、その他の団体の経済的支援を受けた場合は、論文内にその旨を記載してください。

⑫ 最後に、頁数、文字フォント、ポイント等が執筆要領及び原稿ひな形に沿って作成されているか確認してください。

4 原稿等の送付方法

(1) 原稿等は、原則として電子投稿とします。

(2) 原稿等は、電子メールの添付ファイルとして送付してください。なお、メールの送信については自己責任において行ってください。

(3) 電子ファイルの保存形式は、Word 若しくは pdf 形式としてください。

(4) 電子投稿ができない場合は、電子メディア (CD-ROM 等) に保存したものの郵送も可とします。その際は、記憶媒体にラベルを貼り、筆頭著者氏名、保存形式を併記してください。

(5) 投稿する際は、必ず原稿審査依頼書 (指定様式 様式 1) を添付してください。

(6) 電子投稿の送付先アドレス及び郵送先は、次のとおりです。

E-mail アドレス : symposia@kitasato-u.ac.jp

郵送先 : 〒949-7241 新潟県南魚沼市黒土新田 500 番

北里大学保健衛生専門学院 学術委員会事務局 宛

電話 025-779-4511

なお、郵送する場合は、必ず簡易書留便又は宅配便 (メール便は除く) とし、封筒の表に「北里学院紀要原稿」と朱書きしてください。

(7) 受領した原稿 (記憶媒体を含む。) は、返却しません。

5 原稿の校正等

(1) 掲載原稿の校正は、学術委員会において行います。

(2) 原稿の掲載は、論文の区分ごとに受理順とします。

6 掲載料等

(1) 査読料及び掲載料は、無料です。

(2) カラー頁、アート紙写真等、著者の希望により特別に注文する場合は、別に実費を徴収します。

(3) 発行した紀要は、著者数 + 1 冊を第一著者に贈呈します。

7 掲載内容の使用手続き

- (1) 紀要に掲載された図表など原著性の高い内容を、他の雑誌や書籍刊行物で使用する場合は、指定様式（様式2）により本学院に必ず書面で許諾申請を行ってください。電子メールでの申請は受け付けません。
- (2) 使用が許可された図表等に関しては、脚注あるいは参考文献として引用文献の明示、謝辞などに記載してください。

8 その他

紀要の執筆等に当たって不明な点は、「学術委員会事務局」までお問い合わせください。

以 上